

まえがき

※本書は1作目との連続性はございません。各章で完結しているため、こちらの作品単体でもお楽しみいただけます。

本書は「とにかく人のオナニー事情を知りたい」という衝動から生まれた作品となります。

スタジオTOMでは普段、音声作品でおひと方のオナニー事情について深掘りしていますが、今回はひとつのテーマに絞り、複数の方から文章で語っていただくというスタイルとなっております。

今回はオナニーの原点である「初めてのオナニー」についてスポットをあて、5名の女性に「あなたの初めてのオナニー、または記憶にある最初の意図しない自慰について聞かせてください」とお願いし、ご回答いただいたものをまとめたものの第二弾となります。

いただいた文章にはできるだけ手を加えず、誤字脱字や日本語的に意味が伝わりにくいもの、改行や三点リーダーなどの細かい部分のみを編集し、極力原文のままを掲載しております。

そのため、一部読みづらかったり、変な日本語となっ

ている場合がございますが、それが「個性」であることをご理解いただけると幸いです。

もちろん、編集のくだらない妄想で変なスパイスを足すなんて愚かな行為はしておりません。回答者の女性自らが紡いだ言葉で、自らの「初めてのオナニー」を表現していただいております。

これを読むことであなたの知識欲を満たし、妄想のネタとなり、オナニーを捗らせる。

本書がその一助になることを願っています。

企画・編集・制作 沢尻

ケース①エッチな番組を見ながら

①プロフィール

名前 Nico
年齢 八歳くらい
職業 小学生
出身地 新潟県
趣味 美容 寝ること ドライブ 音楽を聴く

②報告内容

私は幼い頃から性欲が強い方でした。オナニーではないですが幼稚園くらいの時に母のタンスから下着を出し、自分につけ、友達と襲い合うというなんとも子どもらしくない危ない遊びをしていました。

初めてのオナニーは小学校低学年くらいからだだったと

思っています。

私は家庭環境もごく平凡でした。

むしろ他の家庭より厳しいくらい家庭でした。

祖父母、両親、三つ下の弟の6人家族です。

夜ご飯を食べた後は私と両親、弟の4人で寝る前にテレビを見るのが日課でした。

6畳の和室に川の字に布団を3枚敷いていつでも眠れるようにしています。

ある日、家族でTVを見ている時にエッチなシーンが映りました。

当時は女の人の胸は普通に出ていたし、ベッドシーンも今より過激だった記憶があります。

私は女の人の裸でも興奮していた気がします。ちなみに同性愛の経験はありません。

エッチなシーンを見た私はあそこがむずむずする感覚になりました。

うつぶせになり、両手をあそこに当て子宮に力を入れていました。

膣を締める感覚に近いと思います。

足先まで力が入っているため、ふくらはぎと太ももは

ピンッと張った状態です。

テレビに映るエッチなシーンも見ながら、あそこに神経を集中させていました。

時間にして十分くらいでしょうか。

それを続けていたら、感覚に山場がゆっくりとおとずれ、イクったような感じになりました。

すごく気持ち良かったのは覚えていません。

クリトリスをかまっていたわけではないし、中に指など入れていた事はないので、力を入れるだけでイッたような感覚になっていたのはすごく今でも不思議です。

あれは脳イキ？ というものだったのでしょうか？

イッた後は疲れ切ってすぐ眠くなりました。

当時はまだ羞恥心もなく両親のいる前でしていました。が、小学3、4年になると誰もいない部屋でテレビを見て隠れてするようになりました。

私がおんなのような事をしてる時に両親はどういう気持ちで見ていたかというのは全く記憶がありません。

注意されたというのも無かったと思います。

オナニーだとはわからなかったのか？

私ですら今思い出すとオナニーだったんだな、と思います。

③ 当時を振り返った感想

今、振り返ってみると幼いながらすごい事をしてたんだなと思います。

なぜ、こういうことを覚えたのか全くわからないし不思議しかありません。